

とびひ

とびひは黄色ブドウ球菌や、レンサ球菌といった細菌が原因でおこる皮膚の感染症の一つです。

顔や手足の皮膚がじゅくじゅくして、他の部位や、他の人に飛び火のように広がっていくことからとびひと呼ばれています。

今回は、よく質問される、とびひの疑問点についてお答えします。

質問: どうしてとびひになるのですか？

回答: とびひは虫さされやあせも、かき傷、すり傷や湿疹などに細菌が入りこんでおこります。健康な皮膚にはあまり感染しませんが、虫にさされてかゆみが強く、引っかいてその傷口から細菌が侵入してとびひになって受診されることが多いです。

質問: とびひを見つけるポイントは何？

回答: とびひは細菌の増殖しやすい夏に多く見られます。年齢的には10歳までの子供さんで虫さされのあとがじゅくじゅくして、いろんなところにうつって増えてきたという場合はとびひを疑ってください。

質問: とびひを治すには？

回答: とびひはそのままにしておくと、どんどん広がります。とびひには抗生物質が有効ですので、とびひかな？と思ったら、すぐに、受診してください。症状に応じて、抗生物質の塗り薬や飲み薬を使います。かゆみが強い場合は、引っかくことによってほかの場所にうつるのを防ぐため、かゆみ止めの抗ヒスタミン剤を使うこともあります。

質問: プールやお風呂に入るのはいいの？

回答: プールは治るまで入れません。お風呂も治るまでは湯ぶねにつからないほうがよいでしょう。シャワーで洗い流す程度にしておきましょう。

質問: 保育園や幼稚園に行ってもいいの？

回答: 症状や回復の程度、部位により異なりますので、主治医とご相談ください。

質問: とびひの予防は？

回答: 夏は毎日お風呂に入り清潔にしておきましょう。虫さされ、すり傷などは早めにきちんと治療しましょう。爪は短く切り、手をよく洗いましょう。鼻をいじるのはやめましょう。

文責(森田秀樹)